

ほっかいどう

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

8
月号

August 2024

vol.256
令和6年7月発行

特集

ヒグマの被害に 遭わないために

北海道の多くの地域は
ヒグマの生息地です



©北海道立総合研究機構

北海道のヒグマの個体数は増加傾向にあり、警戒心の薄いヒグマが道内各地の都市部やその周辺地域などの人の生活圏に頻繁に出没するようになってきています。

ヒグマ推定生息数の変化

平成2年(1990年)

5,200頭

2.3倍

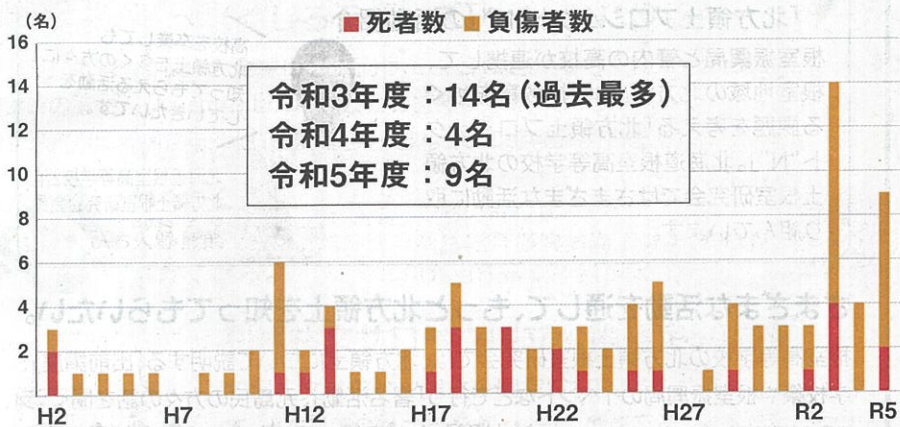
令和4年(2022年)

12,200頭

ヒグマの捕獲頭数やこれまでに実施した調査の結果などを用いたシミュレーションの結果、令和4年(2022年)末には、全道で12,200頭程度(令和6年(2024年)3月末時点の推定値で変動あり)のヒグマが生息し、その数は増加傾向にあると考えられています。

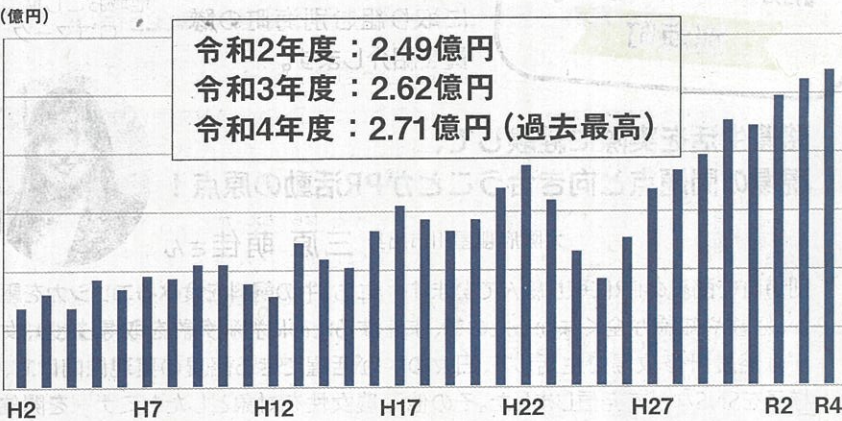
人身事故発生状況

被害者の活動別では、狩猟や許可捕獲時によるものが全体の37%で最も多く、次いで山菜採りやキノコ狩りの際に発生したものが全体の24%を占めています(昭和37年度(1962年度)から令和5年度(2023年度)までの死傷者数)。



農業被害額

令和4年度(2022年度)には2億7千万円となり、作物別にみると、最も被害額が多いのはデントコーン(被害額全体の48%)であり、次いでピート(18%)、スイートコーン(7%)、小麦(3%)、水稻(3%)となっています。



北海道庁メディアポータルサイト
ミササル
Hokkaido Government Media Portal Site



WEB限定
コンテンツ
公開中!

広報紙
「ほっかいどう」
ウェブサイト



北海道広報番組



ヒグマに深掘り! ~遭わない、
寄せ付けない、慌てない~

STV 令和6年7月27日(土)
あさ9時25分~(予定)

番組を見逃した方はこちらからご覧いただけます。>>



MC▶ハンバーガーボーイズ

1 ヒグマに出遭わないために

出没地域に住む人

- ・生ゴミ(コンポスト)などを屋外に置かない
- ・ヒグマの好む作物は、電気柵で防御
- ・出没情報があるときは、夜間や薄暗い時間帯の外出を避ける
- ・犬の散歩は、吠え声でヒグマを興奮させる恐れがあり危険



登山・ハイキング・山菜採りなどは

特に注意!

- ・出没情報のあるところには立ち入らない
- ・野山などでは複数人で行動する
- ・鈴や笛で音を出しながら歩く
- ・ヒグマの痕跡を見つけたら引き返す
- ・早朝や夕方はヒグマの活動が活発になるので注意
- ・溪流近くは周りの音が聞こえづらいので注意
- ・万が一の場合に備えて、クマスプレーを携行する



2 ヒグマに出遭ってしまったら

遠くにヒグマを見つけたら、その場から静かに立ち去る

落ちついて状況を判断し、その場から静かに立ち去りましょう。



ヒグマがこちらに気づいても、あわてないで静かに立ち去る

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。

それでも近づいてきたらゆっくりと後退

ヒグマから視線を離さず、ヒグマの動きを見ながらゆっくりと後退を。



走って逃げるのは自殺行為

ヒグマを刺激しないよう、ゆっくりと後ずさりしましょう。



子グマの近くに必ず母グマあり

母グマは子グマを守ろうと攻撃します。決して子グマに近づかないように。



襲い掛かってきたら、首の後ろを手で覆い地面に伏せる 100%完全な対応ではありません

首や後頭部への致命傷を防ぐため、首の後ろを手で覆い、地面に伏せることが有効とされています。

INTERVIEW

インタビュー



さとう よしかず
佐藤 喜和さん
酪農学園大学 教授
農食環境学群 環境共生学類
野生動物生態学研究室

ヒグマの生態の研究に加え、農地や人里への出没原因の解明と対策にも取り組んでいる酪農学園大学の佐藤喜和教授にお話をうかがいました。

●ヒグマが人の生活圏に入り込む理由は?

5~7月上旬の繁殖期は、子グマを襲うことのあるオスグマから逃れるため、母子グマが人里周辺に現れたり、親離れした若いオスグマが、川沿いや防風林などを伝って市街地に迷い込むことがあります。

8~9月には、エサとなる草が堅くなって食べづらくなる時期で、収穫期の農作物を狙うようになることもあります。

●ヒグマを人の生活圏に来させないための対策は?

すみ分けによる共存を実現するため、山と人里がつながる川

沿いや防風林などに、ヒグマの侵入を遮断するような環境整備が必要です。通路がある以上、捕獲だけでは解決しない問題です。自然災害に備えるように、社会全体で備えたいものです。

●私たちがやるべきヒグマへの備えは?

生ゴミの放置は「無意識の餌付け」です。コンポスト、ペットのエサ、廃棄した農作物や収穫しない果樹などは適切に処分しましょう。また、野山に入る際は、複数人で行動し、声を出す、手をたたく、クマ鈴を鳴らすなど、ヒグマに人の存在を知らせることが有効です。

地域おこし協力隊Café

別海町

都会に住む人が課題を抱える市町村に移住し、才能や能力を発揮する地域おこし協力隊。今回は、酪農のPR活動に取り組む別海町の隊員を紹介します。



ほっかいどう
地域おこし協力隊
ロゴマーク

酪農生活を実際に経験して、現場の問題点と向き合うことがPR活動の原点!

みはら もえ か
大阪府寝屋川市出身 三原 萌佳さん



別海町で酪農のPRに取り組んでいます。経験や知識が全くなかったため、まずは酪農研修牧場で生活して、日々の様子をSNSなどで発信しました。その他

にも、牛の飼料を食べるエゾシカを駆除するために狩猟免許を取得したり、女性が活躍できる酪農の実現に向けて、就農女性を対象としたセミナーを開催するなど、酪農生活の経験を生かして、現場の問題点と向き合ったPR活動に取り組んできました。今後は、まさに少ない宿泊施設の運営や、酪農の6次産業化などにも取り組んでいきたいです。



酪農研修牧場での作業時の様子



新たな視点で学びを深める道内の高校生のお話を紹介します。

高校生のマナビバ

「北方領土プロジェクト“N”」の活動紹介

根室振興局と管内の高校が連携して、根室地域の北方領土・学校教育をめぐる課題を考える「北方領土プロジェクト“N”」。北海道根室高等学校の北方領土根室研究会ではさまざまな活動に取り組んでいます。

高校を卒業しても北方領土を多くの方々に知ってもらえる活動をしていきたいです。

北海道根室高等学校2年
北方領土根室研究会会長
るいせ ともひと
類瀬 智人さん



さまざまな活動を通して、もっと北方領土を知ってもらいたい。

根室高等学校の北方領土根室研究会では、北方領土について説明する「出前講座」、学校祭や根室振興局のイベントなどで行う「署名活動」、元島民の方々の話を聞く「ラジオ収録」などを行っています。こうした活動を通して、同世代の高校生や管外の方々にも、北方領土についてもっと知ってもらえるようになればうれしいです。



署名活動を行う根室地域の高校生

根室振興局北方領土対策課
TEL.0153-24-5592



3 人とヒグマとの共存のための取り組み

個体数の増加、分布の拡大、警戒心の低いヒグマの出没などで、人とヒグマとの距離が近くなっています。共存のためには、人とヒグマとの「すみ分け」がポイントになります。

北海道ヒグマ管理計画

道では、ヒグマによる人身被害の防止や人里への出没の抑制、農業被害の低減、ヒグマ地域個体群の存続を図るため、「北海道ヒグマ管理計画」を策定し、2つの方策を柱とした総合的な対策に取り組んでいます。

※近年、人とヒグマとのあつれきがかつてないほど高まっており、その低減を図るため、現在、計画の見直しについて検討を進めています。

①あつれき低減のための方策

人とヒグマとのあつれきの低減には、問題個体の発生抑制と排除のための対策が必要なほか、一人一人が被害に遭わないための正しい知識を身に付けることなどが重要です。道では、ごみや農作物の管理を徹底し新たな問題個体を発生させない取り組みや、問題個体の排除、電気柵の導入促進による農業被害の防止、ヒグマに出遭った時の対応などに関する正しい知識の普及などを行い、あつれきの低減を図っています。

②地域個体群存続のための方策

地域個体群を保全するために、研究機関や関係機関などと連携を図りながら、科学的なデータの蓄積や個体数などの把握のための調査研究やモニタリングを行っています。また、地域ごとにメスの捕獲数に上限を設けるなど、地域個体群の絶滅を回避する管理を行っています。

春期管理捕獲

概要

人里周辺のヒグマの生息密度を減らし、人への警戒心を持たせ、人里への出没を減らすとともに、捕獲従事者の育成を進めるため、2～5月に春期管理捕獲を実施しました。

実施結果

昨年に比べて捕獲数は減少しましたが、捕獲実施市町村数は約2.7倍に、実施延べ日数も約3倍になり、ヒグマに警戒心を植え付ける機会は増えました。また、経験の浅い方の延べ人員は約1.9倍に増えており、実践の中で経験を積むことで、ヒグマ捕獲従事者の育成に寄与しました。

項目	令和5年	令和6年
捕獲数[頭]	20	14
捕獲実施数(市町村・団体)	20 (18・2)	50 (48・2)
市町村数[実施場所]	19	50
実施延べ日数[日]	143	423
延べ人員[人] (うち経験の浅い者)	804 (483)	1,808 (900)

指定管理鳥獣への指定

指定のポイント

昨年11月、クマ類によるあつれきの高まりを踏まえ、北海道東北地方知事会として、国に対し、クマ類の指定管理鳥獣への指定などについて緊急要望し、本年4月、国は、クマ類(四国を除く)を指定管理鳥獣に指定しました。この度の指定により、国においては、クマ類特有の課題に対応した支援を行うこととしており、道としては、国の支援を活用した対策を進め、より実効性あるヒグマ対策の充実・強化に取り組めます。



昨年11月に実施した緊急要望の様子

ヒグマの有害捕獲へのご理解について

ヒグマの捕獲に従事される方々は、地域の安全・安心を守る上で、欠くことのできない存在です。こうした方々が、道民の生活を守るために、安心して捕獲に取り組んでいただけるよう、捕獲に従事される方々の社会的な重要性をご理解いただきますようお願いいたします。



特集に関するお問い合わせ／道庁ヒグマ対策室 TEL.011-204-5988

Pick Up!

地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

釧路総合振興局

「あなたも今日から#kushiro_lovers (くしろラバーズ)へ！」SNS投稿キャンペーン

道東道(本別～釧路)の全線開通に向けて、「これぞ、くしろ!」といった魅力を、くしろファンの皆さん(Kushiro Lovers)とともに発信するSNS投稿キャンペーンを行っています。期間は、令和7年3月31日まで(第一弾は、令和6年8月31日まで)。



わくわくくしろが
ちかくなる。

お問い合わせ／
釧路総合振興局商工労働観光課
TEL.0154-43-9184



宗谷総合振興局

利尻礼文サロベツ国立公園指定50周年



利尻礼文サロベツ国立公園指定50周年を迎えることを記念して、当エリアの魅力を発信し、知名度を高め、来訪意欲の向上を図るため、スタンプラリーやフォトコンテストなどの各種記念事業を実施しています。

お問い合わせ／スタンプラリー
稚内市建設産業部観光交流課
TEL.0162-23-6272



お問い合わせ／フォトコンテスト
宗谷総合振興局商工労働観光課
TEL.0162-33-2927



北海道・札幌市が「金融・資産運用特区」の対象地域となりました

道と札幌市が「北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」」を共同で提案し、6月に北海道と札幌市が金融・資産運用特区の対象地域となりました。併せて、北海道全域が国家戦略特別区域に指定されました。

●北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」とは？

北海道が有する国内唯一の再生エネルギーを活かし、日本の再生可能エネルギーの供給基地、またアジア・世界の金融センターの実現を目的としています。このために、道内でGX関連事業を導入・実施しやすくなるような規制緩和や、札幌市内でGX関連事業への投資を支える金融機能の強化・集積が進むような規制緩和をはじめとした様々な取り組みを実施することにより、全道域でのGX産業の振興を図り、環境と経済が好循環する持続可能な地域社会の構築を進めます。

GXとは？化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造を、クリーンエネルギー中心へ転換する取り組みのこと。

道庁ゼロカーボン産業課 TEL.011-206-9094





北海道からのお知らせ

道庁からのお知らせなどをお伝えします。詳しくは、各ウェブサイトをご覧ください。

「みんなの鉄道ーがんばれ!地域の公共交通ー」開催

北海道博物館第10回特別展として、公共交通の歩みをたどりながら、鉄道や地域の交通を支える、使う人々の物語をさまざまなテーマで紹介します。会期は7月20日(土)~9月23日(月・祝)です。

北海道博物館
TEL.011-898-0466



7月は「愛の血液助け合い運動」実施中

献血運動の一層の推進を図るため、7月31日(水)まで「愛の血液助け合い運動」を実施しています。北海道では400mLの献血・成分献血の協力が1日700人必要です。ぜひご協力をお願いいたします。

道庁医務業務課
TEL.011-204-5265



8月7日は「北海道花の日」です

花があるだけで、空間に彩りが生まれ、人の心を和ませます。冷涼で昼夜の寒暖差が大きい北海道で生産される花はとりわけ色鮮やか。この機会に、毎日の生活に「北海道の花」をプラスしてみませんか?

道庁農産振興課
TEL.011-206-9083



北海道行政職員として働いてみませんか

令和6年度(2024年度)に実施予定の北海道行政職員等採用試験の受験を検討されている方に、試験の概要をお知らせしています。詳細はそれぞれの試験案内で必ずご確認ください。

北海道人事委員会事務局任用課
TEL.011-204-5654



北海道美術品購入サポーター(寄附)募集

道立美術館の美術品を安定的に収集するため、個人や企業、団体から広くご支援いただく寄附制度「美術品購入サポーター制度」を新設しました。皆様からのご支援をお待ちしています。

教育庁文化財・博物館課
TEL.011-204-5747



北海道警察官を募集しています

北海道の安全と安心を守る警察官を募集しています。防犯活動、犯罪捜査、災害救助など、個性や特技をぜひ生かしてください。令和6年度(2024年度)第2回採用試験の受付は8月16日(金)17:00まで。

北海道警察本部採用センター
TEL.0120-860-314



日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生しました!

日高山脈襟裳十勝国立公園は、日高山脈襟裳国立公園及びその周辺地域を含めて令和6年6月25日に指定されました。我が国で35カ所目の国立公園の誕生であり、道内では、昭和62年に釧路湿原国立公園が指定されて以来、7カ所目となります。この新しい国立公園は、南北およそ140kmに及び脊梁山脈であり、我が国最大の原生流域を擁する日高山脈から、裾野の森林地域を含み、切り立った海食崖や海成段丘が特徴的な海岸地域までつながる、13の市町村にまたがる陸域で国内最大の広大な国立公園です。

この国立公園にある、唯一無二の素晴らしい四季折々の風景を共に保全し、現在まで守られてきた自然環境や文化を次世代にも受け継いでいけるよう、持続的に利用していくことが必要です。百聞は一見にしかず!ぜひ、日高山脈襟裳十勝国立公園へ遊びに来てください。

道庁自然環境課 TEL.011-204-5204



抽選で20名様に当たる!

おいしい道産品プレゼント

JA新しのつ「新しのつ米 ななつぼし 2kg」

ほどよい粘りと甘みでつやもよく、味と食感のバランスに優れたお米です。冷めてもおいしいのが特徴で、北海道では最も食べられている品種です。

応募期限/8月30日(金)必着

応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙8月号 おいしい道産品プレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



次号のお知らせ

次号は8月22日(木)に配布予定です。

令和6年5月末時点
北海道の総人口

5,066,449人(前年同月より48,597人減)

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

※6月号の記載内容に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤)前年同月より92,588人減→(正)前年同月より49,703人減



この広報紙は
環境に優しい
植物性インキを
使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

広告掲載を希望
される場合は、
道庁広報広聴課へ
お問い合わせください。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

広報紙

ほっかいどうクイズ

広報紙「ほっかいどう」では、プレゼントが当たるクイズ企画を実施。問題は特集から出題します。右の二次元コードからアクセス!



特集
ヒグマの被害に遭わないための
からのクイズに答えよう!

ヒグマ

検定にも
挑戦しよう!!

詳しくは
こちらから
アクセス



ハンセン病元患者のご家族へ

~対象となる方々に「補償金」を支給します。

秘密は守られます。~

○秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。不安なお気持ちやご質問にも丁寧に答えます。

○この補償金は、国が、誤った隔離政策により、元患者のご家族の皆様にも多大の苦痛と苦難を強いてきたことを心からお詫びし、その精神的苦痛を慰謝するためのものです。

厚生労働省
補償金相談窓口

電話番号 03-3595-2262

受付時間 10:00~16:00(月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。)



請求期限は、令和11年
(2029年)11月21日まで

ハンセン病問題を正しく理解し、偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。

ハンセン病 厚労省 🔍 検索

※同居など一定の要件が必要な場合があります。

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。

広告



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

対象者	(ア) 配偶者(事実婚も含む) (イ) 親、子 (ウ) 親・子の配偶者及び 配偶者の親・子等	補償金額 180 万円
	(エ) 兄弟姉妹 (オ) 祖父母・孫 (カ) 祖父母・兄弟姉妹・孫の 配偶者及び配偶者の祖父母・ 兄弟姉妹・孫等 (キ) 曾祖父母、ひ孫、おじ、 おば、おい、めい	補償金額 130 万円